PICC　2022 年度活動報告書

（2022 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日まで）

一般社団法人
公益資本主義推進協議会
Public Interest Capitalism Council

目次

1. 会長（代表理事）ご挨拶 P.02

2. 公益資本主義について P.04

3. PICC について P.04
- PICC のビジョン
- PICC　団体概要

4. 事業の概況について P.07
- 設立から体制づくり
- 2022 年のテーマと活動
- 2022 年度の業績概況

5. 2022 年度　決算報告 P.09
- 2022 年度　貸借対照表
- 2022 年度　正味財産増減計算書
- 財務諸表に関する注記

6. ＰＩＣＣの委員会活動　会員による「公益資本主義」の実践 P.12
- 数字で見る PICC の実践活動
- 100 年企業研究委員会
- 地域活性化委員会
- 教育支援委員会
- 途上国支援委員会
- 会員交流委員会

7. その他の取り組みについてのご紹介 P.20
- 第７回 PICC 優秀事例発表
- ＰＩＣＣ「王道経営」実践道場
- ＰＩＣＣツアー
- メディアへのコラム提供
- マイコミュニティフォーラム
- Ｕ２５会員について

8. 2023 年のテーマ P.31
- 2023 年　PICC テーマ

1．会長（代表理事）ご挨拶

日本経済は、直近では新型コロナウイルス感染拡大、ウクライナ侵攻の余波など大きく影響を受け停滞が続いておりますが、リーマンショック以降、大勢としては安定した経済成長が続いてきました。しかし、「実感が乏しい」好景気と言われる通り、日本人・日本企業からかつてのような元気も自信も感じられない状態が続いてきました。なぜでしょうか？

その最大の要因は、経済を支える企業が「米国型資本主義」に強く影響を受けて経営されているからであると、私は考えています。日本中の会社が違和感を覚えながらも「何よりも優先すべきは目標数字を達成することだ」「より短期間でより多くの利益を株主に還元することが企業価値である」という偏った価値観を持ち、「自分さえ良ければ」「今さえ良ければ」という考え方で経営判断を下しているのです。その結果として、黒字リストラ、粉飾決算、商品データの改ざん、談合、ブラック企業等、さまざまなかたちで社会を騒がせる存在となっています。企業は本来の存在意義を忘れてしまったのです。

また、アメリカを猛追する中国では「国家資本主義」が力を付けてきました。しかし、これもやはり「儲けるためならなりふり構わず」というスタンスが強まっており、これから大きな経済成長が期待される近隣諸国への影響を考慮すると、非常に強い危機感を抱いています。

では、企業の本来の存在意義とはどのようなものでしょうか。企業とは本来、社会の困りごとを解決するために存在しています。お客様から選んでいただけるよう、企業はより良い商品・サービスを提供するために努力し、その結果として収益を得ることができるのです。その中から社員へは給与というかたちで、株主へは配当というかたちで利益の一部を分配します。あわせて、企業の事業活動は取引先や仕入れ先の収益にも寄与するものであり、また社員の雇用や納税を通じて地域社会や国の維持・発展にも貢献しているのです。

このように、企業は経済を支える「社会の公器」と言える存在です。すなわち、企業は「社員」のものであり、「顧客」のものであり、そして「株主」のものであり、「取引先」のものであり、「地域」のものなのです。日本では古来、こうした考えを根底に持ち商売が行われていました。

「三方よし」「和を以って貴しとなす」「吾唯足知」、古くから日本に根付くこのような企業の在り方にもう一度、しっかりと目を向けていくことが、今の時代だからこそ必要であると確信しています。

これから世界経済の中心となるべきは、米国型の株主資本主義でも中国型の国家資本主義でもありません。社会全体の利益を考える資本主義、日本型の「公益資本主義」です。

私はこうした考えを日本中に、そして世界中に拡げ、変えていくため「公益資本主義推進協議会（以下「PICC」と呼ぶ）」という組織を作りました。

PICC では、「限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する」をビジョンに掲げ、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けて様々な活動に取り組んでいます。一つ一つの活動は大きな影響力はないかもしれません。しかし、この PICC を、公益資本主義について学ぶ場、実践する場、そして発信する場として全国に広めていくことによって、必ずどこかで世の中を変えるためのきっかけをつくることができると信じ、活動を続けています。

この趣旨に賛同していただける皆様、ぜひ本協議会にご参加いただき、一緒に新しい資本主義の在り方を考えていきましょう。そしてこの「公益資本主義」を、広く世界に発信していきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

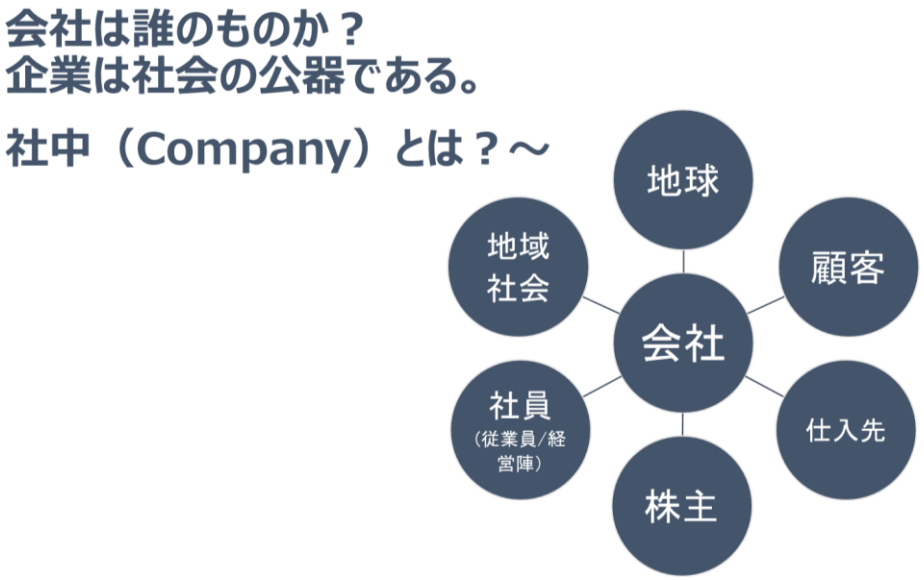
以上

一般社団法人
公益資本主義推進協議会
Public Interest Capitalism Council

会長（代表理事）　大久保秀夫

2.　公益資本主義について

PICC の最高顧問である原丈人氏は著書『「公益」資本主義　英米型資本主義の終焉』（文春新書）の中で、公益資本主義について「企業の事業を通じて、その企業に関係する経営者、従業員、仕入先、顧客、株主、地域社会、環境、そして地球全体に貢献する」ような企業や資本主義の在り方と定義しています。



「公益」と言うと利益を追求するのが悪いことのように思われるかもしれませんが、そうではありません。その逆です。企業を支えるすべての関係者に貢献するためには、大いに稼ぎ、持続的に発展していく必要があります。

3.　PICCについて

一般社団法人公益資本主義推進協議会＝PICC（Public Interest Capitalism Council）とは、公益資本主義を全国に広め、世の中を変えるためのきっかけをつくる活動を推進する協議会です。

公益資本主義の考えに沿った正しい企業の在り方＝「王道経営」を学び、それを実際の事業活動の中で実践することで社業を伸ばし、その有用性について実証していくこと、そして、公益資本主義に賛同する企業経営者を数多く育成・輩出していくことをミッションとしています。

PICCのビジョン

限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、

新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を

世界に発信し、地球益に貢献する。

そのため、PICC 会員企業がいま為すべきことは、

魂の決断で社会性をベースとした会社・事業を創出し、

独自性のあるビジネスモデルに昇華させる。

同時に、経済性も成り立つよう改良改善に挑戦する。

その結果生まれた利益は、社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、株主、つまり社中全体に公平に分配していくことで共存共栄を果たし、永年続く企業となることを目指す。

PICC　団体概要

名称：	一般社団法人公益資本主義推進協議会	
設立：	2014 年（平成 26 年）1 月 27 日	
所在地：	東京都渋谷区神宮前五丁目 52 番 2 号	
目的等：	諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けての活動	
会員数：	267 名（2022 年 12 月末、正会員 198 社、U25 会員 69 名）	
支部等：	東京支部／愛知支部／福岡支部／福島支部設立準備委員会／栃木支部設立準備委員会／広島支部設立準備委員会	
役員：	最高顧問	原 丈人
	会長（代表理事）	大久保 秀夫
	副会長（理事）	田中 勇一
	理事	前川 洋一郎
	理事	北見 俊則
	理事	大塚 雅之
	理事	飯田 剛也
	監事	佐藤 栄作
	相談役	川原 正孝
	相談役	林 英臣
	相談役	寺田 耕治

4. 事業の概況について

設立から体制づくり

PICC は、公益資本主義を実践し、浸透させることで諸外国から真に尊敬される日本づくりを目指して活動しています。2014 年の設立当初は、会長である大久保秀夫を中心に日本全国を回り、次世代を担う若手経営者に向けて、現在の資本主義の問題点、企業の本来の在り方、人としての在り方、PICC の目指すこと等について啓発活動を中心に取り組んでまいりました。この結果、全国で PICC のビジョンに賛同する企業に入会していただき、組織の基盤をつくることができました。

会員数が一定数を超えた地域に支部を設立し、各地域で具体的活動を展開できる組織作りを行いました。現在は、東京・愛知・福岡に支部が設置されています。また、福島・栃木・広島には支部設立準備委員会が立ち上げられ、次の支部化に向けて組織づくりや新規会員獲得に取り組んでいます。

- ✓ 東京支部
- ✓ 愛知支部
- ✓ 福岡支部
- ✓ 福島支部設立準備委員会
- ✓ 栃木支部設立準備委員会
- ✓ 広島支部設立準備委員会

各支部には「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の５つの委員会が立ち上げられ、公益資本主義を学び、それを実践するための具体的活動に取り組んでいます。しかし、支部ごとに人員数や活動テーマが異なるため、その進捗にはばらつきがある状況です。

2022年のテーマと活動

2022 年度は最上位目的として「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」と定め、①PICC でなければ学べないコンテンツや環境整備、②王道経営実践状況を「見える化」するための重点指標の検討、③新たな会員を増やすための方策の検討、以上３点を重点課題として取り組んでまいりました。

PICC 活動も、会員の想いも、方向性を本業強化＝王道経営に集約するべく、まず PICC 会員自身が「王道経営」を学ぶための環境づくりに注力し、大久保会長自ら講師を務める「王道経営実践道場」を開始いたしました。また、時間が合わず講義に参加できなかった会員、今後入会してくる会員、振り返って確認したい会員等、より多

くの人が、それぞれ都合のいいタイミングで再学習できるよう、講義動画や資料をアーカイブで確認できる環境を整備しました。

しかし、Web サービスはたいへん便利である一方、リアルでなければ学べないこともあります。さまざまな現場・現物・現実を確認することで、人としての在り方や未来について深く考えるための場として、新たに「PICC ツアー」もスタートいたしました。

ただし、新型コロナウイルスの影響は依然として無視できるものではなく、また働き方や生活様式が変化した影響もあり、PICC 全体においても、支部においても、Web 会議を活用した非対面の活動が中心となりました。先述した通り、一部で対面式のイベントが新設されたり、復活されたりしているものの、全体としてはオンラインでの活動が多かったため、旅費交通費や会議費を中心に、支出実績は大幅に予算計画を下回っている状況です。

このような活動の結果、正会員については昨年を大きく上回る 26 社が新規入会しました。ただし、社業多忙等による退会が 17 社、休会・失効が 15 社あるため、稼働している正会員数は年初の 205 社から 198 社（12 月 1 日現在　※失効や休会を含めると 230 社）へ微減しております。またマイコミュニティフォーラム等で知り合った若者を対象とした U25 会員は 3 名増えたものの、25 歳を迎えて卒業した者が 16 名いたため、トータルで 69 名になっています。

2022年度の業績概況

このような活動を行った結果、今年度の業績は次の通りとなりました。

経常収益は前期に比べ 677 万円増加し 2,146 万円の収益となりました。主な収益は、支部所属会員を対象としている月会費（1 万円／月）とその他の地域の会員を対象としている年会費（3 万円／年）です。前期は新型コロナウイルス感染拡大により従来通りの会員活動を行うことが難しい状況を踏まえ、合計で 6 カ月間の会費減免を実施しましたが、今期は実施しなかったため、昨年よりも増収となりました。

一方で費用の支出は、引き続き予算を下回る状況が続いたため、902 万円の利益となりました（前期は 279 万円の利益）。会費の一部は、各支部会員が自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していくための支部活動費として活用されています。また本部においても、会員や支部会計を管理するためのシステム整備・運用、会議やイベント開催等の財源としています。2022 年度も様々な予算を計上していたものの、多くの会議やイベントが中止もしくはリモート開催となったため旅費交通費、諸謝金、広報費、会場費を中心に、支部・本部共に経費支出が大幅に削減されました。

5. 2022年度 決算報告

貸借対照表

2022年12月31日現在

単位：円（税込）

科目	残高
小口(宮城支部)	0
小口(大阪支部)	0
小口(福岡支部)	36,247
ﾏｲｺ小口(愛知)	5,566
小口 (福島)	10,450
普通預金(本部)	20,736,725
ﾈｯﾄ預金(本部)	49,004
普通(東京支部)	1,159,024
普通(愛知支部)	1,504,843
普通(宮城支部)	0
普通(大阪支部)	0
普通(福岡支部)	2,817,859
ﾏｲｺ普通(愛知)	763,813
普通 (福島)	321,531
現金預金合計	27,405,062
事業間勘定	0
本部	3,000,000
東京支部	-3,000,000
未収会費	784,020
未収金	27,000
前払金	27,500
貯蔵品	18,000
前払費用	190,894
仮払金	590,000
流動資産合計	29,042,476
基本財産合計	0
特定資産合計	0
その他固定資産合計	0
固定資産合計	0
資産合計	29,042,476
未払金	300,818
預り金	24,852
仮受金	0
仮受け会費等	0
流動負債合計	325,670
固定負債合計	0
負債合計	325,670
指定正味財産合計	0
一般正味財産	28,716,806
正味財産合計	28,716,806
負債及び正味財産合計	29,042,476

事業別正味財産増減計算書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

単位：円（税込）

科目	支部	本部	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	279,000	279,000
正会員入会金	0	270,000	270,000
U25入会金	0	9,000	9,000
受取会費	0	15,743,000	15,743,000
正会員年会費	0	3,557,500	3,557,500
正会員月会費	0	12,185,500	12,185,500
内振支部活動費	1,984,725	-1,984,725	0
内振支部活動	1,984,725	-1,984,725	0
事業収益	3,773,323	445,000	4,218,323
講演会等収益	719,341	0	719,341
イベント収益	3,053,982	445,000	3,498,982
受取補助金等	1,183,000	0	1,183,000
受取地方補助金	1,183,000	0	1,183,000
雑収益	30,152	10,129	40,281
受取利息	52	119	171
雑収益	30,100	10,010	40,110
経常収益計	6,971,200	14,492,404	21,463,604
(2) 経常費用			
事業費	6,890,721	2,233,139	9,123,860
諸謝金	517,491	80,000	597,491
旅費交通費	287,125	322,606	609,731
消耗品費	38,955	200,816	239,771
通信運搬具	12,056	210,146	222,202
システム管理費	278,050	667,920	945,970
渉外費	130,721	10,000	140,721
会議費	369,207	26,574	395,781
広報費	925,670	0	925,670
会場費	2,393,090	77,704	2,470,794
開催費	1,440,572	223,300	1,663,872
支払手数料	57,704	414,073	471,777
支払保険料	49,910	0	49,910
業務委託費	360,000	0	360,000
支払寄附金	30,170	0	30,170
管理費	0	3,314,892	3,314,892
支払報酬	0	27,500	27,500
諸謝金	0	100,000	100,000
旅費交通費	0	431,236	431,236
消耗品費	0	106,991	106,991
通信運搬具	0	2,538	2,538
システム管理費	0	889,811	889,811
渉外費	0	114,104	114,104
会議費	0	35,012	35,012
広報費	0	1,035,331	1,035,331
会場費	0	158,520	158,520
支払手数料	0	7,249	7,249
租税公課	0	10,600	10,600
顧問料	0	396,000	396,000
経常費用計	6,890,721	5,548,031	12,438,752
評価損益等調整前当期経常増減額	80,479	8,944,373	9,024,852
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	80,479	8,944,373	9,024,852
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
内部振替額	25,962	-25,962	0
内部振替収入	25,962	0	25,962
内部振替支出	0	25,962	25,962
税引前当期一般正味財産増減額	106,441	8,918,411	9,024,852
法人住民事業税	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	106,441	8,848,411	8,954,852
一般正味財産期首残高	9,936,981	9,824,973	19,761,954
一般正味財産期末残高	10,043,422	18,673,384	28,716,806
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	10,043,422	18,673,384	28,716,806

財務諸表に関する注記

1．　重要な会計方針
公益法人会計を適用しております。

（1）　棚卸資産の評価基準および評価方法
棚卸資産はございません。
（2）　固定資産の減価償却の方法
固定資産はございません。
（3）　引当金の計上基準
引当金はございません。
（4）　消費税等の会計処理
税込方式によっております。

2．　特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳
特定資産はございません。

3．　固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高
固定資産はございません。

4．　実施事業等会計にかかわる資産
実施事業等会計にかかわる資産はございません。

5．　重要な後発事象
ございません。

付属明細書

1．　特定資産の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。

2．　引当金の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。

6. PICCの委員会活動　会員による「公益資本主義」の実践

PICC 各支部では、「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の５つの委員会が立ち上げられ、さまざまな活動に取り組んでいます。

数字で見るPICCの実践活動

PICC では全国の支部・会員企業が、さまざまな活動に取り組んでいます。一つひとつの活動は小さいかもしれませんが、積み重ねることで何か世の中を変えるための一助につながっていくと信じております。2022 年度、全国支部や PICC 全体で取り組んだ活動を集計し、数字でご紹介いたします。

100 年企業研究
- 企業訪問　7 社
- 勉強会　2 回

出前授業
- 41 校　4,512 名
- 勉強会等　7 回

MYCO フォーラム
- 2 都市　2 回
- 参加人数 663 名

途上国支援
- ミーティング等 3 回

地域活性
- イベント　13 回

支部活動
- 定例会　6 都市 66 回
- 勉強会　6 都市 131 回
- 若者支援　4 都市 29 回

全国会議・勉強会
- 支部長会議　10 回
- 実践道場　6 回

メディア掲載
- 34 媒体　86 回

100 年企業研究委員会

世界で最も多くの 100 年企業が存在する日本。これらの企業から経営の本質を学び、自らの経営に取り込むとともに、日本の経営の在り方を広く推奨していく委員会です。100 年企業の視察や、経営者をお招きした勉強会などを行っています。

- 書物や講義を活用した研究
- 実際の 100 年企業への訪問
- 会員企業の 100 年ビジョンづくり

主な活動実績

実施日	地域	概要
2022/2/12	東京	100 年企業訪問　神村酒造工場見学
2022/3/8	東京	100 年企業訪問　日比谷松本楼
2022/3/22	東京	100 年企業訪問　青木酒造株式会社/株式会社小池/割烹料理和田家
2022/5/25	東京	100 年企業訪問　鰻の大江戸
2022/6/20	東京	100 年企業訪問　和菓子屋「神田三原堂」
2022/7/21	愛知	定例会　「優れた会社・良い会社とは」（前川洋一郎 理事）
2022/9/12	東京	100 年企業訪問　株式会社チェックメイト
2022/11/7	東京	100 年企業研究委員会　前川理事ヒヤリング
2022/12/12	愛知	支部定例総会・老舗料亭 助六訪問

地域活性化委員会

日本創生の原点となる地域振興。さまざまな分野から地域の活性化を研究・実践する委員会です。地域活性に取り組む他団体との連携も含め、公益資本主義の考えを活かしながら各地域にマッチした地域活性化に挑戦しています。

- 地域課題や他地域における活性化事例の研究
- 地域活性に取り組む団体との連携
- 地域活性学会との連携
- 地域の学生／企業／自治体／学校等との連携
- 地域活性化のための企画／実行

主な活動実績

実施日	地域	概要
2022/1/25	福島	定例会・ぼくらの学校（講師：久我和也、吉田 真）
2022/2/25	福島	定例会・ぼくらの学校（講師：藤野寛蔵、荒川健吉）
2022/3/22	福島	定例会・ぼくらの学校（講師：片山純、佐藤康則）
2022/4/22	福島	ぼくらの学校　第３期無料特別授業１回目（講師：太田大、佐藤康則）
2022/5/10	福島	ぼくらの学校 第３期無料特別講座２回目（講師：塙啓之、馬場知子）
2022/5/27	福島	ぼくらの学校（講師：吉田雅彦、佐藤康則）
2022/6/24	福島	ぼくらの学校（講師：太田大、伊藤潤一）
2022/7/9	福島	地域活性化委員会（引きこもり支援講演会のお手伝い）
2022/7/22	福島	ぼくらの学校（講師：馬場知子、目黒徳幸）
2022/8/26	福島	ぼくらの学校（講師：坂本直樹、久保田彩乃）
2022/9/22	福島	ぼくらの学校（講師：塙裕之、吉田真）
2022/10/9	福島	ぼくらの音楽祭
2022/10/28	福島	ぼくらの学校（講師：久我和也、三部香奈）
2022/11/27	福島	ぼくらの学校（講師：佐藤玲子、宗像有美）
2022/12/23	福島	ぼくらの学校（講師：遠藤秀文、荒川健吉）

※　上記の他、支部によってマイコミュニティフォーラムや地域イベントの企画・運営について取り組んでいます。

教育支援委員会

子供は未来の財産です。学力の低下に加え、夢や希望が持てない日本の子ども達に経営者からの視点で教育を推進する委員会です。教育と子育ては地域ぐるみで行うことと考え、「出前授業」などの活動を積極的に展開しています。「働くとはどういうことか？」「社会における企業の役割」「志や目標を持つことの大切さ」等をテーマに、企業経営者が自身の経験や想いを直接伝えることで、これから社会に出てゆく子供たちに働くことの意味や将来の夢を考えるきっかけを作ることが狙いです。2022 年は延べ 41 校、4,512 名の学生に向け、出前授業を行っています。

- 出前授業の実施
- 職場体験の受け入れ
- マイコミュニティフォーラムで知り合った学生への教育
- 新たな教育支援手法（オンライン出前授業、ぼくらの学校 等）の研究

主な活動実績

実施日	地域	概要
2022/1/11	東京	出前授業　自由が丘学園高等学園
		課題発表「SDGs を事業（仕事）を通じて解決するには」
2022/1/20	東京	出前授業　自由が丘学園高等学園
		課題発表「SDGs を事業（仕事）を通じて解決するには」
2022/3/13	福岡	福岡大学 ＆ PICC リーダー研修
2022/5/9	東京	出前授業　東京都立第五商業高等学校３年生
2022/6/3	福岡	出前授業　佐賀市立川副中学校
2022/6/27	愛知	出前授業　誠信高校
2022/6/18	東京	出前授業　東京都市大学付属中学校３年生
2022/7/5	福岡	ジョブ tavi　博多高等学園２年生
2022/7/6	福岡	出前授業　福岡市立席田中学校１年生
2022/7/9	東京	出前授業　豊島区立西巣鴨中学校２年生
2022/7/16	東京	私立岩倉高等学校　企業団体と教員によるワークショップ
2022/7/21	東京	出前授業　私立岩倉高等学校２年生
2022/7/21	愛知	出前授業　愛知県立一宮起工科高校
2022/7/21	愛知	出前授業　愛知県立愛知総合工科高等学校１年生
2022/7/29	東京	神奈川工科大学　機器分析実験ポスター発表会に審査員として参加
2022/8/22	広島	出前授業勉強会（PICC 東京支部教育支援委員会　谷川宏樹 委員長）
2022/8/24	東京	出前授業　私立岩倉高等学校２年生
2022/9/1	広島	出前授業実施前勉強会
2022/9/16	東京	出前授業　私立岩倉高等学校３年生
2022/9/16	福岡	ジョブ tavi　博多高等学園２年生
2022/9/22	愛知	出前授業　愛知県立緑丘高等学校１年生
2022/9/27	広島	出前授業実施前勉強会
2022/10/4	東京	出前授業　あきる野市立東中学校 特別支援学級 1-3 年生
2022/10/12	愛知	出前授業　西尾市立平坂中学校２年生
2022/10/18	愛知	出前授業　鈴鹿大学
2022/10/21	東京	出前授業　神奈川工科大学２年生
2022/10/21	愛知	出前授業　神奈川工科大学２年生
2022/10/25	広島	出前授業実施前勉強会
2022/11/4	東京	出前授業　わせがく高等学校勝田台キャンパス
2022/11/9	広島	出前授業　広島市立庄原中学校２年生
2022/11/10	愛知	出前授業　鈴鹿大学
2023/11/19	福島	出前授業　福島県立安積黎明高等学校１年生　「仕事について」
2022/11/21	東京	出前授業　武蔵野東中学校
2022/11/22	東京	出前授業　自由が丘学園高等学園２年生

「自由が丘の地域発展・地域貢献につながるような事業を考える」

2022/11/25	東京	出前授業　武蔵村山市立第四中学校
2022/11/28	愛知	出前授業　愛知教育大付属高等学校
2022/11/29	愛知	出前授業　三重県立白子高等学校１年生
2022/11/30	東京	出前授業　錦城高等学校
2022/12/1	福島	出前授業　福島県立郡山高等学校１年生　「仕事について」
2022/12/2	東京	出前授業　幸田町立北部中学校２年生
2022/12/6	福島	出前授業　あさかの学園大学　「エコについて」
2022/12/6	福島	出前授業　職業訓練校１年生　「デザインについて」
2022/12/8	東京	出前授業　自由が丘学園高等学園２年生
		「自由が丘の地域発展・地域貢献につながるような事業を考える」
2022/12/8	福岡	出前授業　佐賀市立城南中学校 ２ 年生
2022/12/12	東京	出前授業　自由が丘学園高等学園２年生
		「自由が丘の地域発展・地域貢献につながるような事業を考える」
2022/12/14	東京	出前授業　私立岩倉高等学校２年生「地方創生について」
2022/12/14	東京	出前授業　私立東京立正高等学校１年生「企業による SDGs」
2022/12/21	福岡	出前授業　福岡大学経済学部

途上国支援委員会

国の基本は教育です。経済や文化の領域で将来のパートナーとなる途上国に対して、教育や自立支援をサポートしています。教師団の派遣や幼小中高一貫校設立などに取り組む CIESF と連携し、途上国支援の在り方を学び、実践します。

- 途上国支援
- 途上国進出の検討／実施
- 留学生受け入れ
- 他の途上国支援団体の研究／協力
- CRM 手法の研究／実践

主な活動実績

2022/1/24	東京	TSC 東京共催、認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス創設者　鬼丸昌也氏講演会
2022/9/20	福岡	東南アジア（タイ）視察に向けたミーティング
2022/10/28	愛知	アスジャ・インターナショナル交流会に参加

会員交流委員会

会員活動の基盤となる公益資本主義。その考え方を学び、経営者本来のあり方を身につける「在り方」勉強会の普及を図る委員会です。また、各支部定例会を通じて会員相互の交流（親睦・ビジネス）を促すとともに、全国各地の支部との交流会も開催しています。

- 公益資本主義の学び
- 「在り方」「やり方」勉強会
- 魅力ある定例会の企画／運営
- 新規会員の勧誘／教育
- 会員企業の魅力発掘／発信
- 会員交流

主な活動実績

実施日	地域	概要
2022/1/13	広島	健康経営委員会
2022/1/26	東京	優秀事例発表会用ビデオ撮影会
2022/1/26	栃木	定例会、経営理念勉強会
2022/1/29	東京	東京支部チャリティゴルフコンペ
2022/2/12	東京	肝高の阿麻和利観劇
2022/2/15	東京	定例会「経済的に困難を抱える高校生にプログラミング学習支援で自走力を」（NPO 法人 CLACK 平井理事長）
2022/3/22	広島	定例会、健康経営委員会
2022/4/13	東京	会員交流企画「ゴルフ練習会」
2022/4/19	東京	定例会「あり方とやり方 中期経営計画」「今期の事業計画シェア」
2022/4/20	愛知	定例会「若者の意識に異変!?企業が考えるべき、これからの若者の採用・育成法」（リクルートワークス研究所　古屋星斗 研究員）
2022/5/11	栃木	定例会「PICC とは」「優秀事例 MVP 発表」
2022/5/13	本部	新入会員オリエンテーション
2022/5/14	栃木	栃木＆東京支部交流ゴルフコンペ
2022/5/17	東京	定例会「ウクライナ情勢、ハンガリーでのウクライナ難民の状況」（テラ・ルネッサンス　佐々木純徹 氏）
2022/5/28	東京	会員交流 BBQ
2022/5/28	広島	広島・福岡合同チャリティコンペ
2022/5/28	広島	広島・福岡合同定例会「このまま日本がダメにならないために」（フォーバル　寺田耕治取締役）
2022/5/30	福島	福島版オリエンテーション
2022/5/30	広島	徳山大学経営者講義 「プロジェクトマネジメントの基本の視点と第四時産業革命とこれからのビジネス」（川村健一 教授）

2022/6/6	広島	勉強会「世界の貧困層 17 億人を救う GMS の挑戦」（GMS　中島徳至 社長）
2022/6/18	福島	会員交流ゴルフ企画・いのししスプーン会
2022/6/21	東京	定例会「中小企業経営者向け　”資産形成と運用”」（宇坪正敏 氏）
2022/6/27	福島	福島版オリエンテーション
2022/6/27	広島	勉強会「国際ビジネス特論、開発の原点、アスカネットの使命」 （アスカネット創業者　福田幸雄 氏）
2022/6/27	愛知	定例会　「銀行とのつきあい方、銀行がみる決算書 M&A の基礎知識」 （ストライク　堀口拓矢 氏）
2022/7/9	東京	親睦ゴルフコンペ
2022/7/16	福島	会員交流ゴルフ企画・いのししスプーン会
2022/7/19	広島	全国支部長会議 in 山口
2022/7/26	東京	定例会「ホールアースとメタバース」（清蓮貴 氏）
2022/7/27	本部	新入会員オリエンテーション
2022/7/28	福島	PICC 福島　総会・講演会（寺田耕治 相談役）
2022/7/30	福岡	定例会「海難事故における救急救命」（飯田剛也 支部長）
2022/8/8	福島	財務セミナー（三部会計事務所　小比田洋希 先生）
2022/8/9	東京	親睦ゴルフコンペ
2022/8/20	福島	会員交流ゴルフ企画・いのししスプーン会
2022/8/23	東京	定例会　会員交流懇親屋形船
2022/9/6	福岡	会員交流委員会　広島支部設立準備委員会との交流、工場視察
2022/9/12	福島	福島版オリエンテーション
2022/9/12	東京	親睦ゴルフコンペ
2022/9/17	福島	会員交流ゴルフ企画・いのししスプーン会
2022/9/21	東京	定例会　新入会員の事業紹介
2022/9/29	本部	「PICC 優秀事例発表会」登壇者勉強会
2022/10/11	東京	親睦ゴルフ練習会
2022/10/14	福岡	広島・福岡合同チャリティコンペ
2022/10/15	福島	会員交流ゴルフ企画・いのししスプーン会
2022/10/15	福岡	一般社団法人公益資本主義推進協議会＆一般社団法人林英臣政経塾合同講演会
2022/10/18	東京	定例会　「おすそわけで世界を豊かに変える」 （株式会社 USTUS　新田拓真 代表）
2022/10/24	愛知	定例会　「SDGs が変える未来 ～資本主義がもたらしたもの～」 （MEDICAL Pit / エリア・サービス　佐藤千佳 代表）
2022/10/31	広島	勉強会「高齢化社会の介護ビジネスとこれからの展望」 （湖山医療福祉グループ　門田晃 取締役）
2022/11/5	広島	戦争と平和について考えるツアー in 広島
2022/11/14	広島	勉強会「国際事業の取組について」（カルビー株式会社　笙啓英 常務取締役）
2022/11/15	東京	定例会「コロナ禍および現在の若者の状況、団体の活動」 （認定 NPO 法人 D×P　今井紀明 代表）

2022/11/21	広島	勉強会「広島中心部の街づくり、エネルギー事業」 （株式会社インスマート　奥原誠二郎 代表取締役）
2022/11/22	東京	ダイアログ・イン・ザ・ダーク体験会
2022/11/28	広島	勉強会「ベンチャーキャピタル～成長のために資金調達」 （ひろぎんホールディングス　福田寛治 氏）
2022/12/6	福岡	サブスクリプション型ホームページの活用についての勉強会
2022/12/13	東京	親睦ゴルフコンペ
2022/12/14	福岡	ラポールヘアシステム導入について、情報交換
2022/12/20	広島	健康経営委員会

※　上記の他、本部では支部長会議を、各支部では定例会や「在り方」「やり方」勉強会・懇親会を定期的に開催しています。

7．その他の取り組みについてのご紹介

第7回 PICC優秀事例発表会

2023 年 3 月 14 日、社員総会・優秀事例発表会を開催しました。今年は 4 年ぶりにリアル中心の運営で開催し、リアル 62 名、Zoom で 20 名の方に参加いただきました。冒頭の社員総会では、議案として上程していた 2022 年度決算、定款変更は原案どおり承認可決されています。

議事後には、大久保秀夫会長から「追悼　師・稲盛和夫から学んだこと」というタイトルで講話があり、大久保会長が若い頃、稲盛和夫氏から学んだ経営者が大切にすべき人としての在り方について、氏との思い出を交えながら話していただきました。

講演後は、7 回目となる PICC 優秀事例発表会を開催し、全国から選抜された7名の会員による活動事例のプレゼンテーションが行われました。

【優秀事例を発表いただいた会員の皆様】

1．　委員会活動部門（MYCO）
愛知支部　毛受 芳高さま（一般社団法人アスバシ）

2．　PICC プレゼン部門
福岡支部　古屋 純平さま（株式会社レジャーリンク）

3．　U25 チャレンジ部門
福岡支部　松藤 大治さま（福岡大学/さわかみ投信㈱）

4．　公益資本主義の実践部門
東京支部　大塚 雅之さま（大塚実業株式会社）

5．　公益資本主義の実践部門
福岡支部　内山 大輔さま（株式会社アーニスト）

6．　委員会部門（教育支援）
東京支部　谷川 宏樹さま（株式会社アイ･コンサルティング）

7．　U25 チャレンジ部門
愛知支部　北島 詩乃さま（名古屋外国語大学/ツレテコ）

その中で最も優れたプレゼンテーターとして、名古屋外国語大学の学生でツレテコの代表を務める北島 詩乃さん（愛知支部 U25）に「2022 PICC MVP 賞」が贈呈されました。U25 が MVP を獲得するのは、初の快挙となります。

北島さんからは、居場所づくりプロジェクトである『ツレテコ』の活動について、ご紹介いただいています。「居場所」とは、ありのままの自分でいいんだと思える場所のこと。「居場所」の数が増えれば増えるほど、自己肯定感や将来への希望が数値的に高まるという調査結果もあるそうです。

なぜ北島さんがこのような取り組みを始めたかというと、自身が高校生の頃、このような場所を求めていたことが原体験にあります。ただ話を聞いてくれる大人が欲しい。しかし、今の社会にはそんな場所が失われてしまっています。北島さんは、その現実を諦めるのではなく、その「居場所」を自分でつくることを決断しました。

そんな時に出会ったのが、マイコミュニティフォーラム・東海学生 AWARD です。若者のやりたいことに真剣に向き合ってくれるこの場に力をもらい、居場所づくりプロジェクト『ツレテコ』の実現が加速したのです。

「ここに来ると安心する」と思え、連れてきたいと思った人を誰でも連れて来られるみんなの居場所。岐阜県・中津川の小・中・高校生を対象に、この 1 年間で 19 回開催しました。『ツレテコ』のミッションは、新しい世界への玄関口となること。楽しい＋将来について考えるきっかけをつくることイベントを通して、子どもが個性を発揮し、挑戦するための勇気を育むお手伝いをされています。

「2022 PICC MVP 賞」を受賞された北島詩乃さんより

このように素晴らしい賞を頂くことができ、とても光栄です。実は 2 週間ほど前、愛知支部の定例会があり、いろいろな方からプレゼンについてフィードバックをいただきました。結果、どうしたらいいかわからなくなってしまい、最後の最後まで悩むことになりましたが、こうして賞を頂き、皆様に私の思いが少しでも伝わったのかなと思うと、すごく嬉しい気持ちでいっぱいです。プレゼンテーションの中でもお伝えした通り、私は日の当たらない居場所づくりに取り組んでいます。それは、問題が起こらないとなかなか解決しようとしないこの社会に憤りを覚えているからです。そうではなく、一人ひとりに日の当たるような社会になっていくといいな、そういう思いお伝えし、挨拶とさせていただきます。

また、東京支部には「2022 年度　最優秀支部賞」が贈られています。これで東京支部は三年連続の受賞となります。

「最優秀支部賞」を受賞された東京支部より

大塚支部長：　この一年、支部の皆に協力してもらい、いろいろなチャレンジをさせてもらいました。本日、谷川委員長が発表した自閉症児クラス向けの出前授業もその一つです。当然、うまくいかないことも多いのですが、皆で力を合わせて前に進めてきたたからこそ、受賞することができたのだと思います。

たとえば、昨年は出前授業の依頼をたくさんいただいたので、「講師が集まらない」「どうしよう」ということが実はたくさんありました。しかし、そんな時も「自分がなんとかする」「こういう風にしよう」と、皆で支え合って、皆で協力してくれたのです。今回の事例発表でも、去年、「PICC に参加して、活動している以上、１年かけて何かできることがないのか？　を考え、エントリーしなければダメだ」と、私が吠えてしまったものですから、「出さなきゃいけない」と、それぞれの活動事例をブラッシュアップしていきながら協力してくれました。

この１年間で、東京支部はすごく絆が強くなりました。また、どんどん新しい会員の方にも入っていただいています。私たち東京支部は、１人のスパースターをつくるのではなく、「1 人の 1000 歩より 1000 人の 1 歩」のイメージで今後も協力しあって、更に飛躍できるよう頑張っていきたいと思います。皆さん、本当にありがとうございました。

PICC「王道経営」実践道場

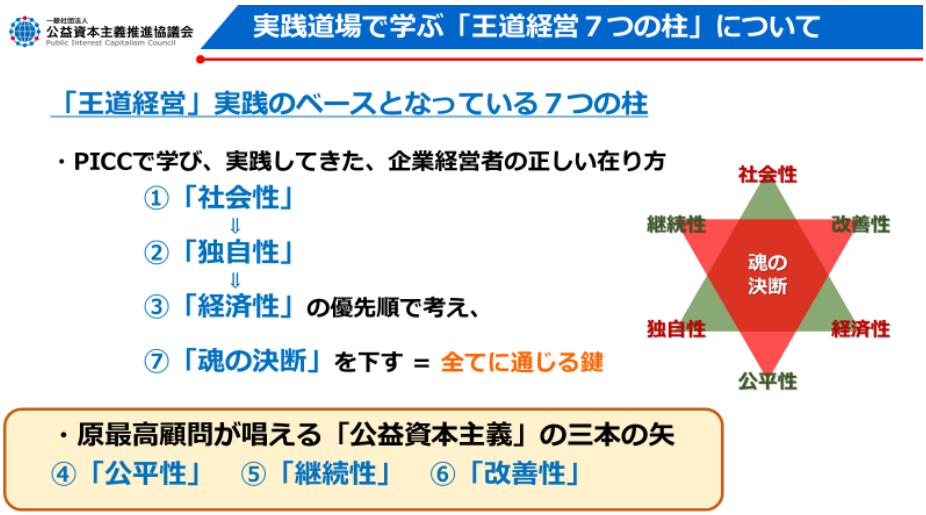
2022 年、PICC は最上位目的として「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」と定めました。「王道経営」とは、強く、正しい、企業経営の在り方。PICC 会員企業が目指すべき企業像です。

この「王道経営」を学んでいただくための新たな場として「王道経営」実践道場を新設しました。PICC 会員企業であれば、経営者はもちろん、幹部や社員、U25 会員も参加可能としています。

PICC では、これまで８年間の活動や学びを通じて、「王道経営」実践のために重要な７つの要素を抽出いたしました。「王道経営」実践道場では、この７つの要素から毎回１つに注目し、大久保会長から直接、その要諦を解説すると同時に、実践事例を紹介しております。

●3 月 15 日（火）13-17 時　「王道経営」実践道場⓪　はじめに

⇒　「王道経営」実践道場の概要や予定について案内しました。



●4 月 28 日（木）16-18 時　「王道経営」実践道場①　社会性

⇒　企業は本来、提供する商品・サービスで社会が抱える問題点を解決するために存在している。また、雇用や納税等さまざまなかたちで貢献する「社会の公器」であることについて、事例を交えて学びました。

●6 月 21 日（火）16-18 時　「王道経営」実践道場②　独自性
⇒　誰もやらないからこそ挑戦する勇気が、会社の独自性となり、商品・サービスの差別化要因となることについて、事例を交えて学びました。

●8 月 23 日（火）16-18 時　「王道経営」実践道場③　経済性
⇒　事業は社会性、独自性があることを前提に、経済合理性も併せ持ち、継続していけるものでなければならない。また、CRM の成功事例や経済性をより高めるために実践すべきポイントについても学びました。

●10 月 18 日（火）14-16 時　「王道経営」実践道場④　公平性
⇒　利益は株主だけではなく、会社を支える社中に公平に分配すること。こうした取り組みを広げていくことで、社会の格差を是正し、層の厚い中間層をつくっていかなければならない。この考えを実践し、「いい会社」と評価されている会社の実践事例を交えて学びました。

●12 月 20 日（火）14-16 時　「王道経営」実践道場⑤　継続性
⇒　会社の持続的成長を支えるためには、中長期的な投資を行うことが不可欠。経営陣は、目先の利益を求めるだけでなく、中長期的な課題にもバランスよく取り組む視点を持たなければならない。そのために大切なポイントについて、長寿企業の取り組みや理念を参考に学びました。

【今後の予定】
●2 月 21 日（火）14-16 時　「王道経営」実践道場⑥　改善性
⇒　経営者は企業家精神を忘れてはいけない。常に改良改善に努め、リスクを取って新しい事業にも挑戦すること。このための正しい企業の在り方について、多様な実践事例を確認しながら学びます。

●4 月 10 日（月）14-16 時　「王道経営」実践道場⑦　魂の決断
⇒　経営者は体の決断、心の決断ではなく、善・悪や正・否で「魂の決断」を下さなければなりません。日々決断を迫られる経営者に成功する決断をするためのポイントについて学ぶと共に、この道場の総括を行います。

PICCツアー

新型コロナウイルスの感染拡大が発生して以降、Zoom を活用した新しい学びのスタイルに切り替えて対応しておりました。全国の会員がひと時に、交通費や会場費をかけずに学ぶことができるようになったことは大きなメリットですが、どうしても学びが身体に残りにくい面は課題でした。そこで 2022 年中盤から、PICC の仲間と共に、さまざまな現場・現物・現実を確認することで、人としての在り方や在るべき未来について深く考えるための機会にしていただくべく、新たな学びの機会づくりに取り組みました。
しかし、

●9 月 2 日　比叡山十二年籠山行満行者である宮本祖豊師による法話会

今回訪問させていただいた宮本祖豊師は、天台宗の僧侶です。1997 年に好相行を満行され、比叡山で最も厳しい修行の一つである十二年籠山行に入り、2009 年に戦後では 6 人目となる満行を果たされています。その後、比叡山延暦寺円龍院住職、比叡山延暦寺居士林所長を経て、現在は同観明院住職、大講堂輪番職を務めていらっしゃいます。

近年がんが見つかり、ステージⅣの宣告を受けているそうですが、命の残り時間を知ってなお、己を磨き高め、一隅を照らしていく覚悟にいささかの迷いも動揺もありません。今回は体調が万全ではない中でしたが、PICC の理念にご賛同いただき、法話会を快く引き受けてくださいました。

法話会では、ご自身が仏門に入られた経緯や好相行、十二年籠山行の体験を中心にお話を伺い、後半は大久保会長と対談形式で心のコントロールの仕方や運・縁の生かし方などをテーマにお話を伺いました。また、最後は参加した経営者からの質疑応答にも応じていただくことができました。

参加した経営者は皆、大いに得たものがあったようです。今回学んだ「徳を積むこと」「誠実であること」「会社を取り巻く関係者すべてを大切にすること」については、PICC でもいろいろな形で伝えてきたつもりでしたが、宮本阿闍梨のお話を受け、その大切さに本当の意味で腹落ちできた様子です。

参加した経営者の中では、「徳を高めよう」「徳を積もう」が合言葉のように飛び交っていました。これは覚悟を持って生き、修行されてきた宮本師から発せられた言葉だからこその力なのだと思います。何を言うかではなく、誰が言うか。人徳の持つ力を目の当たりにした気分です。宮本師からいただいたお言葉を力に、会員一同、これからも王道経営の実践に励んでいきたいと思います。

●11 月５日、６日　戦争と平和について考えるツアー in 広島

ウクライナ紛争や台湾問題等、現実に国同士の紛争が頻発している中、「地球益」を目指す PICC は、2022 年 11 月５日と６日、「戦争と平和について考えるツアー in 広島」を開催いたしました。さまざまな現物、現場、現実に触れることで、国防の重要性や平和の大切さ、太平洋戦争で命を落とした先人の想い等、多くのことを考える機会となりました。

今回、主催したのは、2022 年３月の総会で理事、そして西日本統括に就任いただいた福岡・飯田剛也支部長です。元海上自衛隊で戦術航空士として勤務されていたコネクションを生かし、初日は江田島の旧海軍兵学校（現在は幹部候補生学校）、呉基地、てつのくじら館等、自衛隊関連施設を現役の海上自衛官にご案内いただくというスペシャルツアーとなりました。

また翌日は、座学として退職自衛官が全国の企業や地方公共団体等に再就職し、新天地でその資質と能力を発揮している事例について学びました。防衛省・自衛隊は、任務の性格上、精強性を維持する必要があるため、幹部職員であっても若年定年制により、大半が５０歳代半ばで定年を迎えるそうです。これまで多くの職務を経験してきている、働き盛りでリーダーシップを身につけた管理者です。さらに、規律や礼儀がしっかりしており、士気も旺盛です。常に人材を求めている企業経営者が幹部候補を探す際、選択肢の一つとなりそうです。

実際、PICC 会員企業でも採用実績があり、「会社が 120 度良い方に変化した」との紹介もありました。今回をご縁に、会員企業にとっても、退職自衛官にとっても、良い出会いが生まれることを期待したいと思います。

座学終了後は、平和記念公園に移動し、原爆ドームや資料館を見学しました。前日は戦う側の施設を見学しましたが、戦争は軍や兵士だけで行われるものではありません。ウクライナ侵攻でも日々報道されている通り、戦争によって何の罪もない一般市民も犠牲になるということを改めて認識いたしました。

特に広島は世界で初めて原子爆弾が投下された都市でもあります。人間の科学力によって引き起こされた厄災に脅威を覚えるとともに、爆発、やけど、放射能等、さまざまなかたちで苦しんだ戦災者の姿に胸を痛めました。国防の大切さ、それによってもたらされる平和の尊さについて、それぞれが想いを新たにすることができたと思います。今回の経験をこれからの企業経営、PICC 活動に生かしてまいります。

メディアへのコラム提供

会の名前として冠する「公益資本主義」という言葉は、残念ながらまだまだ一般的には認知されていません。PR 活動の一環として理事に公益資本主義の考え方を反映させたコラムを執筆してもらい、メディア向けに提供しております。

田中勇一 副会長

2022/1/14	日経産業新聞「Smart Times」Leaves of Grass　桜井正則
2022/2/10	日経産業新聞「Smart Times」Campanula　権堂千栄実
2022/4/1	日経産業新聞「Smart Times」CLEAR NOTE　白石由己
2022/4/4	日経産業新聞「ワード FOCUS」GX など
2022/4/27	日経産業新聞「Smart Times」LIFE　松井直樹
2022/5/30	日経産業新聞「Smart Times」ユーフォリア　宮田誠
2022/6/24	日経産業新聞「Smart Times」野田クレーン　野田重秀
2022/6/30	日経産業新聞「ワード FOCUS」日本版 HECS、3P·5F モデルなど
2022/8/17	日経産業新聞「ワード FOCUS」ウエディングケーキモデルなど
2022/8/24	日経産業新聞「Smart Times」ジャパンチャレンジャープロジェクト　中川直洋
2022/10/7	日経産業新聞「Smart Times」Sacco　加藤俊
2022/11/11	日経産業新聞「Smart Times」福岡大学経済学部　松藤大治
2022/11/11	日経産業新聞「ワード FOCUS」オンボーディングなど

前川洋一郎 理事

2022/1/25	日経産業新聞　「長寿企業の研究」東海溶材
2022/3/8	日経産業新聞　「長寿企業の研究」鈴木栄光堂
2022/4/26	日経産業新聞　「長寿企業の研究」上川口屋
2022/5/31	日経産業新聞　「長寿企業の研究」ちむら
2022/6/29	日経産業新聞　「長寿企業の研究」佐藤醸造
2022/7/26	日経産業新聞　「長寿企業の研究」猪ノ口屋商店
2022/8/30	日経産業新聞　「長寿企業の研究」灰吹屋西田筆店
2022/9/27	日経産業新聞　「長寿企業の研究」ヤマトインテック
2022/10/25	日経産業新聞　「長寿企業の研究」杉の森酒造
2022/11/29	日経産業新聞　「長寿企業の研究」池田商店
2022/12/20	日経産業新聞　「長寿企業の研究」政屋紙店

マイコミュニティフォーラム

2016 年 12 月から始めた「マイコミュニティフォーラム」も PICC 全国支部の取り組みとして定着しました。代表世話人として NEWS ZERO のメインキャスターを務めていた村尾 信尚 氏に、また田中副会長を中心に PICC 役員にもご協力いただきながら、日本各地で若者に気付きを与えるためのフォーラムを開催しています。

2022 年 12 月までに全国 7 都市で 25 回開催し、3,842 名の方に参加いただいております。

マイコミュニティフォーラムの目的は、若者の地域に対する意識のスイッチを“オフ”から“オン”にすること。自分たちの力で「国や未来は変えることができるんだ」ということに気付いてもらうため、まずは自分が住んでいる地域でどんな取り組みが行われているか、目を向けてもらい、私の社会のために何かできること、参加してみたいと思えることを見つけてもらうためのヒントを提供したい、そんな思いで企画・運営しております。

各地域の PICC 会員が中心となり、近隣の学校、学生、経営者、NPO、企業、議員等と協力しながら、様々なテーマ・プログラムを提供してまいりました。

はじめに村尾信尚氏から『私の社会をつくるための２つの券』をテーマに、「私たちは社会を変える２つの券、投票券と日本銀行券を持っている」ということを平易に解説。その後は参加する若者のニーズに合わせパネルディスカッションや講演等が行われるのが、基本のフォーマットになっています。近年は、一方的に聞くだけではなく、聴衆も一緒に参加できるワークショップ型の取り組みが採用されたり、学生が自らの活動を発表するプレゼンテーション大会が行われたり、回を重ねるごとに各地域で趣向を凝らしたフォーラムへと進化を遂げてきました。

人が集まるスタイルのイベントのため、新型コロナウイルスの影響は大きいですが、愛知では感染対策を徹底し、またオンラインも活用しながら、コロナ禍の 2022 年度も継続して開催しております。

【2022 年の開催実績】

① 第 24 回マイコミュニティフォーラム in 福島

2022 年 10 月 9 日（日）10：30～17：00

場所：開成山公園

テーマ：ぼくらの音楽祭 in 開成山公園　～スタンドアップ！　もっとピュアになろう！～

参加者：400 名

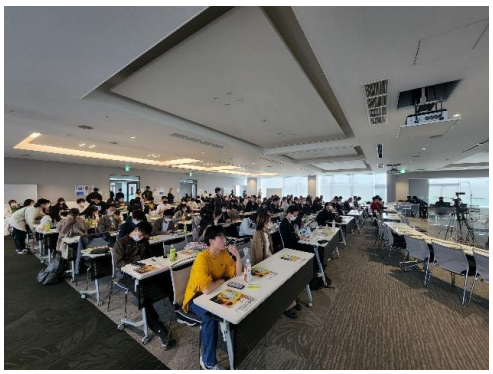
② 第 25 回マイコミュニティフォーラム in 愛知

2022 年 11 月 20 日（日）13：00～18：00

場所：オンライン配信／愛知学院大学　名城公園キャンパス　アガルスタワー

テーマ：東海学生 AWARD 2022 ～青い炎が燈される！～

参加者：現地 167 人、オンライン 96 人



U25会員について

U25 会員は、25 歳未満の若者が PICC の活動に参加できるよう、設けられた会員制度です。各地で年 1 回開催するマイコミュニティフォーラムだけではその場限りの気付きで終わってしまうため、PICC の活動に参加してもらいながら継続フォローできるよう 2018 年から新設しました。

PICC が U25 育成に取り組む理由は、これから地球の未来を担う若者に「公益資本主義」を伝え、継承してもらうためです。

PICC 会員企業は、公益資本主義を学び、それを自社で実践し、社会に広げていくことを使命としています。その対象は、一番はまだ公益資本主義を知らない、実践できていない経営者ですが、本当の意味で公益資本主義を広げるには、企業を選ぶ側、自身が働く企業を選定する学生、商品・サービスを選ぶ顧客にもこの考え方を知ってもらい、公益資本主義的視点で企業を選別してもらう層を厚くしていくことが、将来的にみても重要であると考えています。

若者に PICC 活動に参加してもらうことで、これから社会に出ていく前に知っておくべき、気付いておくべき考え方や視座を提供し、社会で自信をもって活躍できる人材を輩出することを目指しています。

U25・若者向けの活動

2022/1/7	東京	U25 向けリーダーシップ研究会　自主ゼミ
2022/1/11	東京	U25 向けリーダーシップ研究会　自主ゼミ
2022/1/13	東京	U25 向けリーダーシップ研究会　自主ゼミ
2022/1/17	東京	学生団体との「貧困脱出ゲーム体験会」
2022/1/19	東京	U25 向けリーダーシップ研究会　鬼丸塾第４回
2022/1/23	福岡	優秀事例発表会　U25 プレゼンフォロー
2022/2/5	福岡	就活支援ワークショップ
2022/2/16	東京	U25 向けリーダーシップ研究会　第２期最終回
2022/3/5	福岡	就活支援ワークショップ　ビジネスマナー
2022/4/2	福岡	就活支援ワークショップ　リーダーシップ
2022/4/28	東京	U25 向けリーダーシップ研究会　鬼丸塾卒業式
2022/5/7	福岡	就活支援ワークショップ　相性のいいパートナーとは？
2022/6/25	福岡	U25 会員向け教育支援　プレゼン力アップセミナー「論理的な伝え方」
2022/6/29	福岡	U25 会員による教育ワークショップ実践発表会 in 福岡大学
2022/7/2	福岡	就活支援ワークショップ　幹部になるために必要な力
2022/7/14	福岡	U25 会員交流会
2022/7/16	福岡	公益資本主義フォーラム
2022/8/6	福岡	就活支援ワークショップ
2022/8/18	東京	学生団体との交流企画
2022/10/1	愛知	東海学生 AWARD 合宿
2022/11/17	愛知	東海学生 AWARD 直前会議

2022/11/19	愛知	東海学生 AWARD 直前合宿
2022/12/3	福岡	就活支援ワークショップ　計画の立て方 ・ 目的を明確にする方法
2022/12/14	広島	周南公立大学起業部の学生と企業連携について協議
2022/12/18	愛知	東海学生 AFTER AWARD

8. 2023年度のテーマ

2022 年度の取り組みにより、「学び」という部分については、ベースとなる仕組みがしっかり動き出してきました。2023 年度もさらにブラッシュアップしていくことはもちろんですが、前期は十分取り組めていなかった「実践する」「いい会社を増やす」についても強化していく計画です。

2023 年 PICC テーマ

「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」

2023 年度も最上位目的は、「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」を継続し、以下 3 点を重点課題として取り組んでまいります。なお、各課題への対策は複数検討しており、支部責任者の意見を踏まえ優先順位を整理して取り組んでまいります。

① 会員企業は王道経営を実践し、事例発表で全体に共有する
② 会員が支部を越えて交流できる機会や仕組みづくりの推進
③ 新たな会員を増やすための方策の検討

PICC 2022 年度活動報告書

2023 年3月 30 日　発行

著　者　一般社団法人公益資本主義推進協議会
発行元　一般社団法人公益資本主義推進協議会　組織運営本部事務局
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 5-52-2　青山オーバルビル 14 階
電話 03-6826-1234

本書の内容の一部または全部を無断複写、複製、転載することを禁じます。